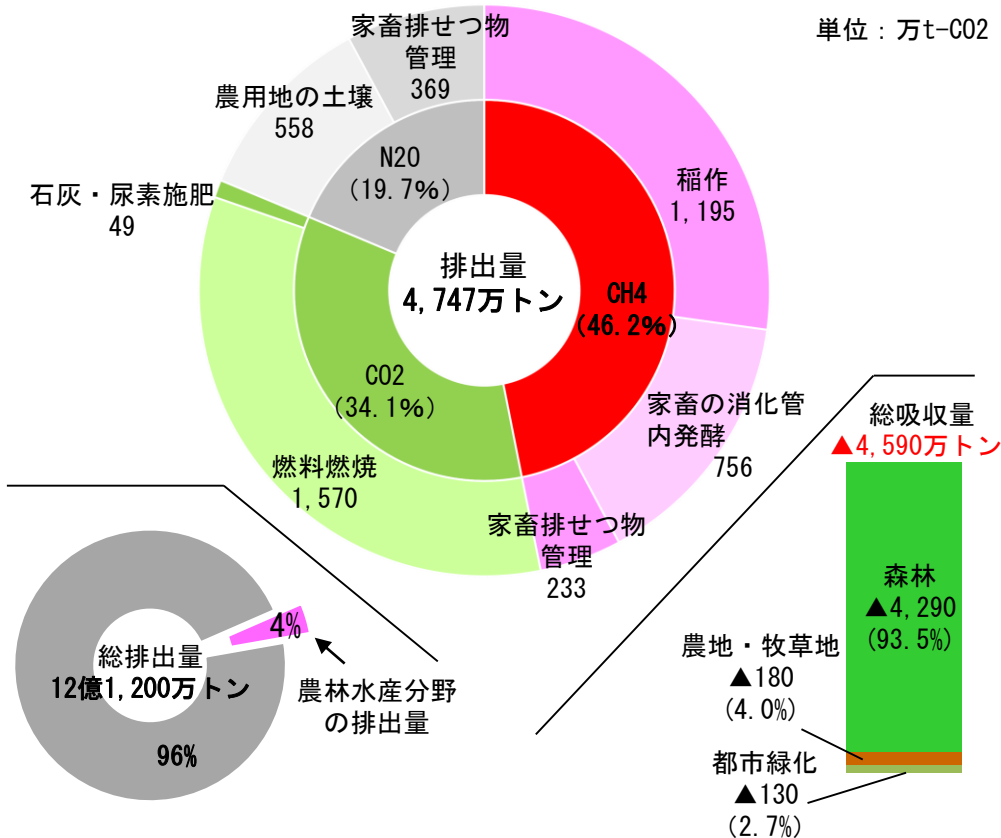


# 国内と道内の農林水産分野の温室効果ガス(GHG)の排出量と吸収量

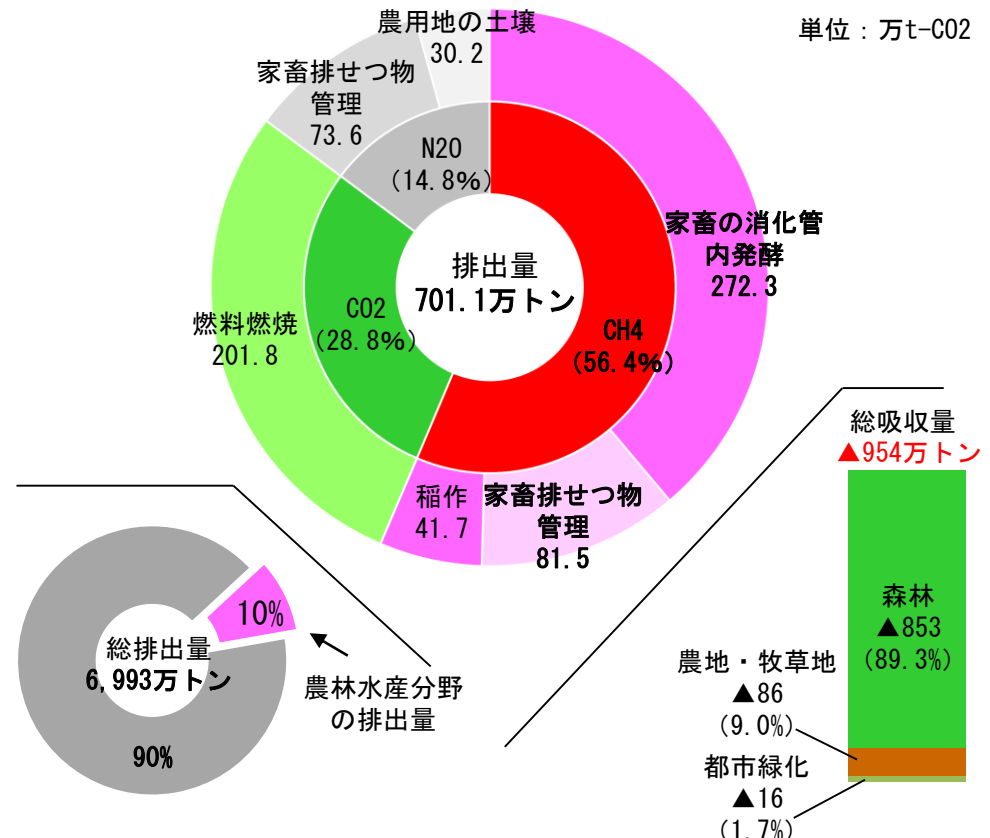
- **2019年度(R元)の国内**の農林水産分野におけるGHG排出量は**4,747万トン**、**日本全体排出量の4%**。一方で、**GHG吸収量は4,590万トン**。このうち**森林4,290万トン(94%)**、**農地・牧草地180万トン(4%)**。
- **2018年度(H30)の道内**の農林水産分野におけるGHG排出量は**701万トン**、**本道全体排出量の10%**。一方で、**GHG吸収量は954万トン**。このうち**森林853万トン(89%)**、**農地・牧草地86万トン(9%)**。
- 国内と道内の農林水産分野の温室効果ガスの排出割合を比べると、道内は家畜の飼養頭数が多いことなどから**家畜由来のメタン(CH4)の割合が高くなっている**。

## ■ 国内の農林水産分野のGHG排出量と吸収量 (2019年度)



データ出典：温室効果ガスインベントリオフィス (GIO)  
注：温室効果は、CO2に比べメタンで25倍、N2Oでは298倍

## ■ 道内の農林水産分野のGHG排出量と吸収量 (2018年度)



データ出典：環境生活部「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく報告書